



りくぜんたかた

市議会だより

令和7年 第4回定例会

● 黄金山水天宮虎舞会（横田町）

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより編集小委員会

No. 135

発行日

令和8年1月14日



陸前高田市議会議長
及川 修一

市民の皆様にご挨拶
を申し上げますとともに、日頃より
市議会活動に対しご理解とご協力を
いただいていることに、議会を代表
して厚く御礼申し上げます。

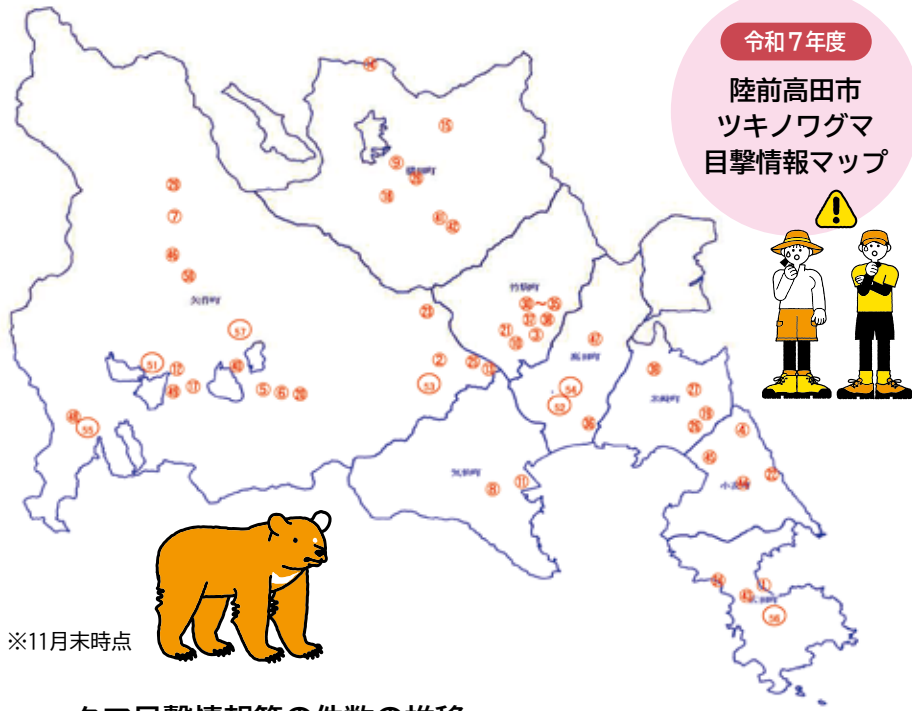
私たちは、市民福祉の向上のため、
政策提言のできる議会を目指してい
ます。そのための手法として市民の
関心事や市政の重要課題について自
由に意見交換しながら論点を整理・
深掘りする「議員間討議」を取り入
れ、議論を深めてまいります。

また、市民の皆様との意見交換の
場である議会と語る会の開催や、議
会の活動を伝える市議会だよりの発
行を行うことで引き続き広聴広報の
充実に取り組み、今年も市民に開か
れた議会を目指してまいります。

昨年は、林野火災や地震・津波と
災害の多い年でしたが、今年は、皆
さまにとって穏やかな一年となりま
すよう、お祈り申し上げます。

い適正な管理を行うことが重要であり、そ
の前提として県によるクマ等の個体数把握
が必要との考えで一致しました。
この審査を経て議会として、クマの個体
数調査を行った上で個体数管理や被害防除
対策を行うこと、クマがシカなどのわなに
かかった時の対応の再検討などを求める意
見書（下部左側参照）を県に提出すること
としました。

令和7年度
陸前高田市
ツキノワグマ
目撃情報マップ



※11月末時点

クマ目撃情報等の件数の推移

※令和7年度は11月末時点

年度／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月～3月	合計
令和7年度	4	4	5	2	0	5	9	28	—	57
令和6年度	0	5	6	7	1	0	0	3	4	27
令和5年度	7	2	1	5	9	0	5	6	2	37

クマ対応で 3常任委員会の連合審査開く 全会一致で意見書を提出



クマ対応について農林課、教育委員会から説明を受ける

12月定例会では、市内外で大き
な問題となっているクマ対策につ
いて、産業建設・総務・教育民生
常任委員会の3委員会で連合審査
を行いました。

クマ対策については3人の議員
が一般質問で取り上げましたが、
近頃のクマの出没は市民生活に大
きな影響があることから緊急の対
応が必要と判断したところです。

！本年度は市内で57頭目撃

審査では、農林課、教育委員会
から現在の対応について説明を受
けた後、議員間で今後の対応につ

いて議論を交わしました。

農林課からは市内でのクマの出
没が11月末までに市内全域で57頭
であること（3ページ上部左側参
照）、対策として猟友会の協力を
得て警戒に当たっていることや、
緊急銃猟（3ページ下部右側参照）
について竹駒町に出没したとの想
定で実地訓練を行ったこと、また、
教育委員会からは学校や通学時の
こどもの安全対策などについて説
明を受け、質疑を行いました。

緊急銃猟は通行止め、避難誘導
などの安全確保が必須であるた
め、実施までに一定程度の時間を
要すること、県が示す推定の生息
頭数だけではクマの適正な管理は
難しいこと、意図せずクマを捕獲
した際に必要な麻酔従事者は県内
にわずかであることが明らかにな
りました。

また、クマ出沒時の猟友会の見
回りへの手当の検討や、学校に配
置しているクマスプレーなどの対
策の充実の必要性なども話し合わ
れたところです。

結果として、捕獲による個体調
整や緩衝帯によるクマとのすみ分
けなど、人の生活圏に出没させな



緊急銃猟とは

近年、市街地へのクマ等の出沒
や人的被害が深刻化しており、早
急な対応が求められることから、
従来の法律では難しかった市街地
での迅速な対応を可能にし、人身
被害を未然に防ぐことを目的に、
クマやイノシシが住宅地など人の
日常生活圏に侵入し、人命に危険
が迫る緊急事態に、市町村長の判
断で銃器を使って捕獲する（銃猟
する）新しい制度です。

「緊急性」「他手段での困難さ」
「住民の安全確保」など4つの厳
しい条件を満たした場合にのみ、
最終手段として実施されます。

陸前高田市では、11月に竹駒町
滝の里町内会館周辺にて緊急銃猟
の実地訓練を行いました。

ツキノワグマ等の被害防除対策を求める意見書

県内では連日のツキノワグマ出沒や死亡に至る痛ましい人身被害も多発し
ている。本市において人身被害は発生していないが、保育施設や学校の近辺
でツキノワグマが出現していることから、早急な対応が求められる。

こうした中、岩手県が主体となる指定管理鳥獣捕獲等事業や市独自の支援
策により、有害鳥獣の捕獲体制の強化や防除対策等を実施しているが、本年
11月期の本市でのツキノワグマの出現は前年比約9倍となっており、更なる
取組の強化が求められている。

現在、緊急銃猟制度が開始されているものの、本制度は飽くまでツキノワ
グマ等対策における応急的な手段に過ぎず、余りにも増加し過ぎたツキノワ
グマによる人身被害の防止を最優先に考え、ツキノワグマ等の個体数管理や
被害防除対策を直ちに講じる必要がある。

また、岩手県の第5次ツキノワグマ管理計画ではツキノワグマの錯誤捕獲
に備え放獣体制の整備を進めることとなっているが、必要な麻酔従事者は県
内で不足しており、実際の放獣対応時には従事者の安全を十分に確保できな
い場合も想定されることから、錯誤捕獲時の放獣対応に対する再検討が必要
と料される。

よって、ツキノワグマ等の被害防除対策の強化が図られるよう、下記の事
項について強く求める。

記

- 1 ツキノワグマ等の個体数調査を早期に実施し、科学的な知見に基づいた個体数管理や被害防除対策を講じること。
- 2 ツキノワグマ錯誤捕獲時の放獣対応の際に従事者の安全を十分に確保できない場合も想定されることから、制度の見直しなど必要な改善を進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月12日
岩手県陸前高田市議会議長 及川 修一

令和7年度

一般会計補正予算案（第4号、第5号）

総額 9億7917万円を追加し
186億9687万円

令和7年第4回定例会提出議案

（条例8件、補正予算9件、請願1件、発議1件、その他4件）

議案1 岩手沿岸南部広域環境組合規約の一部変更の協議について
岩手沿岸南部クリーンセンターの設備改良事業を行うため、組合を構成する市町の負担割合を規約に追加するもの。

議案2 損害賠償の額を定めることについて

議案3 陸前高田市体育交流施設の指定管理者の指定について

議案4 陸前高田市民文化会館の指定管理者の指定について

議案5 陸前高田市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例
横田コミセンの改修に伴い、その使用料を改正しようとするもの。

議案6 陸前高田市社会福祉施設等の人員、設備、運営等の基準等に関する条例の一部を改正する条例
こども誰でも通園制度の開始に伴う改正。

議案7 陸前高田市医師養成奨学資金貸付条例の一部を改正する条例
奨学資金返還に係る利息と延滞利息の廃止等に伴う改正。

議案8 陸前高田市市営住宅条例の一部を改正する条例

議案9 陸前高田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例
機能別消防団員制度の導入に伴う改正。

議案10 陸前高田市火災予防条例の一部を改正する条例

議案11 陸前高田市下水道条例の一部を改正する条例

議案12 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算（第4号）

議案13 令和7年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案14 令和7年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算（第3号）

議案15 令和7年度陸前高田市下水道事業会計補正予算（第1号）

議案16 給与等の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例

議案17 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算（第5号）

議案18 令和7年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案19 令和7年度陸前高田市介護保険特別会計補正予算（第4号）

議案20 令和7年度陸前高田市水道事業会計補正予算（第2号）

議案21 令和7年度陸前高田市下水道事業会計補正予算（第2号）

請願5「陸前高田市景観条例」の見直しについて

発議8 ツキノワグマ等の被害防除対策を求める意見書の提出について

指定管理者を可決

陸前高田市体育交流施設（夢アリーナたかた、高田松原運動公園等）→NPO法人陸前高田市スポーツ協会

陸前高田市民文化会館（奇跡の一本松ホール）→（株）共立ソリューションズ

議案に対する議員の賛否

【採決状況一覧】

※「○」は賛成、「×」は反対、「議」は議長のため採否に参加せず。

	佐々木良麻	菅野秀一郎	小林卓	木村聡	大和田加代子	中野貴徳	伊勢純	佐々木一義	大坂俊	菅野広紀	大坪涼子	福田利喜	藤倉泰治	伊藤明彦	鵜浦昌也	及川修一
議案第1～21号	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第5号	×	×	○	×	×	欠	×	×	○	○	×	×	×	×	×	議
発議第8号	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

請願審査

請願第5号「『陸前高田市景観条例』の見直しについて」は、産業建設常任委員会に付託され、審査を経て12月12日の本会議に諮りました（14ページ参照）。

採決の結果、賛成少数で不採択としました。

請願	請願の趣旨	結果
「陸前高田市景観条例」の見直しについて	同条例による規制のため、ソーラーシェアリング事業の進展に支障が出ると考えられるので全面的な見直しの検討を求めます。	不採択

討論＝賛成 小林卓

将来のまちづくりに必要な問題提起として賛成。



討論＝賛成 大坂俊

当局が条例の見直しを言明しているため、請願内容と整合している。



討論＝反対 佐々木良麻

主張の前提となる事実関係に誤りがあり、不採択とすべき。



我が市政を問う！

一般質問

伊藤 明彦

市長の選挙公約
クマ等の出没対策
被災ミュージアム再興事業

伊勢 純

佐々木市政3年目の到達
物価高騰対策
脱炭素のまちづくり
アワビ採捕漁業の振興策
市営住宅の家賃

菅野 秀一郎
(創生会)

本市の脱炭素先行地域における取り組み
鳥獣被害対策

大坪 涼子
(日本共産党)

広田湾の養殖力キへい死及び貝毒被害対策と
漁業者支援
保育料完全無償化と子育て支援

大坂 俊

東日本大震災復興事業によって生み出された
負の遺産
市長が選挙戦でスローガンとして掲げた「復興の先」

大和田加代子

障がい者等の生活の質向上
鎮魂の庭プロジェクト

佐々木 一義

観光と防災まちづくり
進む高齢化社会の問題
弱体化するコミュニティ

藤倉 泰治
(日本共産党)

現在の市政課題と市長の政治姿勢
公営住宅団地における被災者及び地域活動支援
大震災津波伝承及び避難場所としての本丸公園の整備

菅野 広紀

令和8年度予算編成方針
農業振興と鳥獣害対策
上水道未給水地区の漏水対策と将来見通し

佐々木 良麻
(とほく未来創生)

脱炭素先行地域推進計画
クマ対策

木村 聡
(とほく未来創生)

地域活性のための交通の在り方
女性活躍とキャリアアップ
転出者・出身者の関係人口創出

漁業者の負担軽減策は

従事者減少に伴い支援検討



こちらから視聴できます



伊勢 純
(日本共産党)

新ホテルの開業は

資材高騰で半年遅れる



こちらから視聴できます



工事を再開した新ホテルは、
令和9年2月頃開業予定

脱炭素の取り組みは

脱炭素先行地域計画に基づく事業の進捗は

個別事業ごとに課題が見え、変更を生じている事業もある。国などの協議を随時行っている。

事業実施に向けた今後の取り組みは。

引き続き、市民や各種団体と連携し、環境配慮への理解を深める機会を設けながら、市民一人ひとりが自分事として捉え、行動に移せるよう進めていく。

木質バイオマス燃料の活用促進につながる薪ボイラーを導入する新ホテルの建設状況はどうか。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

建築資材の高騰も影響し、当初の予定から半年遅れの令和9年2月ごろの開業になる見通しと聞いている。

選挙公約の大学誘致は

当初から校舎の建設なし



こちらから視聴できます



伊藤 明彦
(創生会)

市長選で公約に掲げた大学誘致に関し、市内にキャンパスを整備する考えは。

当初から大学の校舎を新たに建てるという考えはなかった。本市を新たな拠点として活動する大学と協議を行っている。情報管理も行いながら慎重に進めたい。

クマ出没の対策は

緊急銃猟の実施体制はどうか。

銃猟を行う捕獲従事者には事前に承諾を得ており、出動要請が可能な体制を整えている。猟友会、警察、消防、県と合同で実地訓練も行い、安全かつ円滑な実施に向け取り組んでいる。

被災ミュージアムは

震災で被災した文化財等を収蔵している旧生出小

学校の今後の利活用は。

引き続き被災資料の安定化処理作業や保管を行う。また、大学等の教育機関との連携により、処理技術を伝える場として活用していく。

修復した美術品の展示保全施設整備は進んでいるのか。

美術品展示保全施設検討委員会を設置し、候補施設として「杉の家はこね」を選定した。しかし、施設の老朽化に対する改修費用が高額となることから、改めて施設や整備内容を検討する。

文化財レスキューにより修復された絵画



文化財レスキューにより修復された絵画



小型の漁船を陸にあげる巻き上げ機

本市でとれるアワビの漁獲量や価格の現状は。

令和6年度の漁獲量は、平成21年度の10分の1程度まで減少。令和7年度入札平均価格は、大震災後の最高額に比べ約2分の1となっている。

漁業者の負担軽減のため、各漁港の船舶巻き上げ機利用への直接支援は。

漁業者の減少による負担感を考慮しつつ、前向きに検討する。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。

収入の申告がない場合、近傍同種家賃を請求している。令和7年度は未提出者3人から申告があり、通常の家賃に修正した。



おお づば りょう こ
大 坪 涼 子
(日本共産党)

カキのへい死に支援は 県や漁協と協議し検討する



こちらから視聴できます

問 全国的に養殖カキのへい死が問題となっている。市内の実態はどうか。

答 県の調査で、出荷時の養殖カキ生残率は30%から70%となっている。

問 本市の養殖漁業の被害は、災害並みの事態であり、水産業にとって死活問題となっている。国の交付金に留まらず、燃油高騰や貝毒検査費用の負担など、本市独自の直接支援はどうか。

答 本市の漁業が自然環境や社会情勢の変化にさらされていることは重く受け止めている。追加的な支援策は県や漁協と協議し検討を進めていく。

保育料無償化は

問 現在、本市の保育料は第1子の3歳未満児だけが保護者負担となっている。早急に完全無償化できないか。

答 財政面だけではなく、保育士の確保が必要と考える。

問 小中高入学時の子育て応援クーポン券の増額はどうか。

答 国の物価高騰対策を注視し、引き続き検討する。

問 育児家族のレスパイトケア支援の今後の改善はどうか。

答 在宅の医療的ケア児を対象に訪問看護師派遣のレスパイト事業の来年度実施に向け検討を進めている。



最盛期を迎えたカキの出荷作業
(米崎町)



おお わ だ か よ こ
大 和 田 加 代 子

ストーマ装具災害預託は 来年度からの開始を目指す



こちらから視聴できます

問 人工肛門、人工膀胱を造設したオストメイトの排泄物を溜めるストーマ装具を災害時等に備えて行政が預かる「災害預託」はどうか。

答 市役所で預かる形となるが、来年度からの開始を目指す。

問 重度障がいのある人などを対象とする日常生活用具給付等事業の給付基準額の見直しは。

答 この事業が開始された平成18年以降見直しを行っていないかった。対象となる日常生活用具の価格も上昇傾向なので見直す必要がある。

問 オストメイト社会適応訓練事業と各障がい者団体の活動等の周知は。

答 当該事業についてはホームページ、SNSなどで情報発信し、日常生活用具給付決定の通知文書に同封する。障



オストメイトトイレが整備されたユニバーサルトイレ
(市役所)

がい者団体については、会員登録やイベント等の周知依頼があった際、対象者に個別に情報発信している。

問 鎮魂の庭は

答 鎮魂の庭プロジェクトの進捗は、総工費は5〜7億円と想定され、1億円が集まり次第着工するとされている。整備を担う日本庭園芸術協会ではホームページ等で寄付を募っている。本市では企業版ふるさと納税で募集しているが、現在の寄付額は600万円となっている。



おお さか たかし
大 坂 隆 俊

残土置き場の利活用は 産業振興や企業立地で検討



こちらから視聴できます

問 復興事業による移転元地の事業残土は、放置すれば負の遺産となる。対応が必要では。

答 残土活用と移転元地の利活用は、産業振興や企業立地の担当課と連携しながら可能性を検討したい。

問 市が数億円の交付金を活用して宮城県境に取得した公有地は、放置すれば山林と化す。市は、利活用について責任があると思うがどうか。

答 本市が太平洋セメント株式会社から取得した福伏鉱山跡地については、復興事業に係る土砂の仮置き場として活用してきた。今後は公共的な活用の可能性等を踏まえながら、公有地の適正な管理と有効活用を努めたい。



移転元地の残土(長部川右岸)

復興の先には何が
問 市長が選挙時に掲げた「復興の先」はどのようなものか。

答 私の思いとしては、「復興の先」は「未来、あるいは将来への希望」。「陸前高田市の将来を担う世代、こども、若者のための支援をもっと積極的にいうこと」。あるいは「将来にわたって陸前高田市が発展出来るように、新たな種をまくこと」と考えている。



さ さ き かず 一 義
佐 々 木 一 義

今後のまちづくりは 観光と環境、防災の 三位一体で



こちらから視聴できます

問 高田松原津波復興祈念公園への来訪者の推移はどうか。

答 昨年4月から10月末まで、前年同期比95・8%となっている。

問 観光や環境、そして防災のバランスがとれた「海と共に生きるまち」を市民と共に考えてはどうか。

答 いずれも本市のまちづくりを進める上で互いに相乗効果を生み出す重要な柱。これを三位一体として推進することが本市の強みを最大限に生かした持続可能なまちづくりにつながると思っている。

問 気仙小学校がある山に、避難先を示す大きな看板の設置は。

答 今後、可能か検討する。
高齡化社会問題は
問 被災者の見守り制度が本年度で終了となるが、来



誰もがわかる避難先看板の設置を

年度以降の高齡者に対する「心の復興」支援はどうか。

答 見守り事業が継続している。国へ要望している。

問 市民が元気に暮らすための施策についてはどうか。

答 高齡化率41・9%の本市は、「はまってけらい」かだってけらいん」運動などを推進して健康寿命の延伸を目指したい。



藤倉 泰治
(日本共産党)

大学誘致の公約は

「達成」をいったん取り消す



こちらから視聴できます

問 公約に掲げた大学誘致に
関し、市長は10月の記者
懇談会でフィールドワークなど
で市外の大学生を市内に呼び寄
せることで公約を達成したと理
解しているという趣旨の発言を
したようだが、その真意は。

答 私の一方的な思いを発言
してしまい、誠に申し訳
なかったと思っており、いつた
ん取り消したい。

問 当時の選挙公報には「陸
前高田に大学を誘致す
る」とあり、市民は「大学を建
てること」が誘致と捉えている
と思う。市長の受け止めは。

答 市民にはそういった意見
があると思う。今考える
と選挙時に、細かいことまで説
明できなかった。今後とも丁寧
に説明したい。

生活支援員の継続は

問 生活支援相談員の活動が
今年度で中止されるので
はと危惧している。市の考えは。

答 市では国事業を活用し、
相談支援事業の来年度実
施を検討している。

本丸公園の整備は

問 本丸公園から指定避難所
への避難路は草木が繁茂
している。早急な対策は。

答 今後も市民が安全に、安
心して利用できるよう維
持管理に努めていきたい。



本丸公園へ向かう避難路



菅野 ひろき

未給水地区の解消は

新施設整備は原則行わない



こちらから視聴できます

問 上水道の未給水地区解消
に向けた施設整備の見通
しはどうか。

答 市政懇談会などで上水道
施設整備の要望がある。

その中で、未給水地区住民の水
道料金収入と管路の延伸や拡張、
ポンプ施設の増設にかかる費用
の比較をはじめ、今後の施設更
新への影響を考慮すると、将来
的な水道料金的大幅な値上げが
避けられないこと。また、新規
増設工費が必要となり、既存
の更新工事費縮小や老朽管更新
の遅れが懸念されるなど、水道
事業の運営に大きなリスクを抱
えることから、これ以上の施設
整備は原則行わないとしてきた
と回答している。

しかし、生活用水の確保は、
市民生活にとって重要なインフ
ラであると認識しており、未給
水地区の住民が行う施設整備



安定供給が課題の自家水源（横田町）

問 補助金は増額したもの
の、市としては整備しな
いと聞かえるが、工事費の見込
み額はどのくらいか。

答 横田町内に限って試算し
た結果、約20億円となっ
ている。



佐々木 良麻
(とうほく未来創生)

脱炭素計画の現状は

物価高騰で一部に遅れ



こちらから視聴できます

問 5年間にわたり、温室効
果ガス排出削減に取り組
む「脱炭素先行地域計画」の現
状はどうか。

答 物価高騰や社会情勢によ
り、民間事業者が実施す
る一部事業に当初計画通りの進
ちよくが難しくなっている。

問 計画に盛り込まれている
新エネルギー設備導入促
進事業助成制度の活用が進んで
いないことが報じられている。
今後の対応は。

答 薪ストーブなどの設置に
上に対して8件申請があった。
一方で、住宅用太陽光発電に
ついては40件の予算計上に対し
て、20件の申請だった。次年度
は、積極的な周知と、より活用
される方法を検討していく。

問 申請したものの助成が認
められなかった事例はあ
るか。



最大80万円を補助する
新エネルギー助成

答 申請前に業者との契約を
結んでいたことで受理で
きなかった事例があった。

問 クマ対策は
クマ出没時の学校への送
迎支援に対する考えはど
うか。

答 バス停や学校までの送迎
は、保護者の協力を得て
いる。送迎が困難な家庭もある
ことから、タクシーなどの通学
支援が可能かを検討する。



木村 龍
(とうほく未来創生)

保育料の段階的無償化は

検討する時間が必要だ



こちらから視聴できます

問 保育料の完全無償化は、
財政面での問題というよ
りは、保育の提供体制が課題と
のことだが、まずは段階的に2
歳児から進めては。

答 良い意見だと受け止めて
いる。2歳児の多くは既
に入所しており、保育の提供体
制の負担は少ない。

問 課題は解消されている。
後は政治決断で進められ
ないか。

答 検討する時間が必要だ。

問 女性の学び直しの支援は。
答 学び直しと再就労は所得
向上と人材確保、生産性
向上に寄与すると認識してい
る。性別に限らず資格取得支援
事業を行っており、情報を把握
し、拡充を検討する。

夜間の交通体制見直しは

問 夜間の経済活性化に向
け、運転代行業の支援に
向けた検討は。



子育ての経済負担軽減へ

答 現行交通で対応可能と考
えている。

問 移動需要に対応している
とは言い難い。ホテル建
設もあり、準備をするべきでは。

答 夜間の経済活動は重要。
商工会や観光物産協会と
連携し、主導的に協議を進めて
いく。

問 転出者との関わりは
本市からの転出者に市の
情報を伝えるなど、関わ
りを続ける工夫が必要では。

答 有意義と認識しており、
実務負担や他の事例・国
制度も踏まえ、速やかに検討を
進める。

総務

所管事務調査

- 10/20 任期中の調査テーマについて
- 11/25 管外行政視察について
- 11/28 会期中の所管事務調査について
- 12/9 脱炭素先行地域の計画概要と進ちよく状況について

所管事務調査

総務常任委員会は、向こう2年間の調査テーマとして「エネルギーについて」と「防災のまちづくり」を掲げています。そこで、12月9日に市役所で「脱炭素先行地域の計画概要と進ちよく状況」について、市企画部脱炭素推進室の大友真也室長と松木翔係長から現状説明を受けました。

「脱炭素先行地域」とは、農漁村等の地域課題を解決しながら脱炭素の取り組みを進める地域のことです。本市は令和6年9月に環境省から選定を受けました。総事業費は約58億200万円で、このうち国の交付金が34億6600万円、市一般財源が1億1700万円、民間事業者資金等21億2400万円などで、本市



メタン発酵の実証実験
(ワタミオーガニックランド内)

として現地調査や視察などを行っていただくことを確認しました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 藤倉泰治 |
| 副委員長 | 佐々木一義 |
| | 菅野広紀 |
| | 伊藤明彦 |
| | 鵜浦昌也 |



「脱炭素先行地域」の説明を受ける

教育民生

所管事務調査

- 10/20 所管事務調査重点項目(テーマ)について
- 11/28 会期中の所管事務調査について
管外行政視察について
- 12/9 本市における部活動地域移行の現状と課題について

調査テーマを決定

教育民生常任委員会は、10月20日に今後2年間の調査テーマについて協議しました。その結果、昨年9月に委員会発議により制定された「陸前高田市こども基本条例」を基盤とし、総合的な視点から政策提言につなげていくため、「こどものウェルビーイングの向上」を調査テーマとして位置付け、取り組みを進めていくこととしました。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指し、短期的な幸福感にとどまらず、生きがいや人生の意義といった将来にわたる持続的な幸福を含む概念とされています。今後は、こどもを取り巻く環境を幅

所管事務調査

広い視点から捉え、長期的な環境改善に向けた調査研究を進めていきます。

12月9日には、本市における部活動の地域移行の現状と課題について所管事務調査を実施し、千葉達教育次長、吉田亜矢子学校教育課長、高橋純基主任主事から説明を受けました。

本市では、令和10年度以降の完全地域移行を目標に、段階的な移行に取り組んでおり、先行して移行が可能な種目から実施し、その成果と課題を検証していく考えが示されました。

課題としては、こどもの移動支援や保護者の経済的負担への支援、クラブ運営に対する財政支援、指導者の確保などについて、保護者から懸念の声が上がって



部活動地域移行について説明を受ける

いることが報告されました。

今回の調査を踏まえ、他市事例の把握や保護者との意見交換などを行いながら、課題整理に向けた検討を進めていくこととしています。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 良子卓喜一 |
| 副委員長 | 佐々木利修 |
| | 木坪林田川 |
| | 大福及 |

産業建設

所管事務調査

10/20 任期中の調査テーマについて

11/20 11/28 今冬のカキ出荷における卵巣肥大症の影響について

請願審査

12/9 請願第5号 「陸前高田市景観条例」の見直しについて

所管事務調査

産業建設常任委員会は、今後2年間の調査テーマとして「産業と観光の振興について」を掲げています。そこで、11月20日、市役所で「今冬のカキ出荷における卵巣肥大症の影響について」を調査しました。

本委員会は、これまで海水温の上昇などに伴う水産業への被害や対策について調査してきました。今回は、今冬のカキ出荷が本格化するのを前に、市水産課の石川浩課長と中川健司係長から説明を受け、質疑を行いました。

養殖力キのへい死について、大船渡水産振興センターが取りまとめた広田・小友・米崎・気仙各町の漁業者からの聞き取り調査を基に議論。高水温の年に考えられる対策として、生殖能力を抑えた三

倍体力キの導入や2年での出荷、温湯駆除回避などの説明を受けました。今後は、生産現場へ足を運び、今冬この状況も踏まえて引き続き調査をしていくことを確認しました。

請願審査

請願第5号「陸前高田市景観条例」の見直しについてを12月9日に市役所で審査しました。

平成30年に制定された景観条例について、ソーラーシェアリング事業への支障や社会情勢の変化などを理由に全面的見直しを求める内容でした。

審査では、請願者からの趣旨説明と紹介議員からの補足説明の後、市担当課と質疑を交わしました。

委員からは、請願内容が当局の方針と一致すること、事業が景観審議会承認



カキの現状について説明を受ける

後に実施されており、請願者の危惧には当たらないことなどに意見が分かれたため、起立採決の結果、賛成少数で不採択となりました。（4ページ参照）

委員長	菅野秀一郎
副委員長	伊勢純
	木村聡
	大和田加代子
	中野貴徳
	大坂俊

傍聴者の声



一般質問を傍聴した感想を伺いました。



さん 菊池 栄一 79歳
高田町在住

●傍聴してどんなことを感じましたか？

令和5年9月の市議選から2年余りが経過しました。また、東日本大震災から15年になろうとしています。7年度で震災復興事業も終わる中、今後は中身のある市政に肉付けが必要となります。

急速に進む「少子高齢化」は本市だけの問題ではなく、大きな自治体も同様です。いずれ、時間が経てば解決するという問題ではなく、本市独自の特色ある市政が望まれ、市民を交えた議会での議論を期待します。

であってほしいですし、高齢者が参加しやすい催しを増やしてもらいたい。

そのほか、本市の七夕祭りは言うまでもありませんが、三陸花火大会も全国的に知れ渡っていました。ところが、昨年は花火大会が運営の不幸で中止になったことは残念でなりません。何とか再開できないものかと思っています。

気候も温暖で、海、山、川の自然豊かな宝が埋もれないよう、元気なまちを目指してほしい。何をすることも「先立つもの」がないということでは前進できません。ヤングパワーでの地域創生を願います。

●傍聴して気づいたことは？

傍聴席で、議会での質疑応答が聞き取りにくい場合、座席前のイヤホン差し込み口が利用できます。持参したイヤホンを通してきれいに聞くことができました。

沿岸広域局大船渡各センター所長等との情報交換会

本市議会は10月31日、市役所で県沿岸広域振興局大船渡各センター所長等と情報交換会を行いました。県側からは本年度の施策推進方針の内容が示され、議員と質疑を交わしました。

振興局からは、沖野智章副局長をはじめ、各センター所長ら計9人が参加しました。県から本年度の気仙管内の主要施策のほか、いわて県民計画の重要課題解決に向け、人口減少対策や産業支援など、多岐にわたる内容の説明がありました。

具体的には、漁業面では「いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業」を新規に展開。高水温に対応したホタテ養殖モデルのほか、生殖機能を抑えた三倍体マガキを利用した養殖モデルを構築する方向性が示されました。

また、クマ対策としては、電気柵やセンサーカメラの市町村貸与、狩猟免許更新試験

や、狩猟者登録の際の事故防止研修会の開催などを予算化しているとのことでした。その後の意見交換は活発な質疑が行われ、地域が抱える課題や今後の協力体制について議員から率直な声が上がりました。

その中で、観光資源としての価値向上が期待される「みちのく潮風トレイル」の環境整備、高田松原の植栽や維持管理に向けた支援などが話題になるなど、県と市が連携して取り組むべき方向性を共有する有意義な場となりました。



沖野副局長から説明を受ける

岩手県市議会議長会は11月19日、盛岡グランドホテルで令和7年度研修会を開きました。県内14市の市議会議員が一堂に会し、講話を通じて故郷の魅力を再発見したほか、議員の役割について再認識しました。

第一部は「移住して発見した岩手の魅力。三本柱で幸福感、あると思います！」と題し、いわて応援芸人の天津木村氏が講演しました。

木村氏は、自然が豊か、食べ物おいしい、人が温かいという、三本柱の「田舎の魅力」が、移住前に抱いていた感覚をはるかに上回り、三本柱の一つ一つが想像以上に太く感じられたなどと体験談に触れながら岩手の魅力についてユーモアを交えて話しました。

第二部は「人口流出が止まらない本当の理由と議会の役割」をテーマに、一般社団法人

県市議会議長会研修

県内14市の議員が一堂に会し研修

コンニャク代表理事の中村健氏が講演しました。

中村氏は、行政が予算主義になることで前例踏襲が起これりやすく、事業の優先順位づけが困難になることを指摘。その上で、議会の役割は「本当に必要なのかを探究すること」と説明し、議員が質的変化のチェックに取り組む重要性について強調しました。



講演する中村氏

気仙沼市と一関市、本市の3市議会による議員研修会は11月21日、気仙沼市役所魚市場前庁舎で行いました。

研修会は、さまざまな分野で深い関わりを持つ県際3市の市議会議員が、相互に交流しながら共に学び、地域の発展に寄与することを目的に毎年のように開いています。

今回は、「気仙沼市のふるさと納税の取り組みについて」と題し、けせんぬま創生戦略室室長補佐兼ふるさと納税係長の尾形庄衛氏が講話しました。

尾形氏は、寄付額が令和6年度まで3年連続東北1位となり、昨年1年間だけで121億円となった取り組みについて説明。返礼品の取扱事業者と返礼品の数を増やすため、自ら現場に足を運び、実績を伸ばしたことを強調しました。

また、利用者にとって申し込みの窓口は多い方がいいと

県際3市議会議員交流会

ふるさと納税東北1位気仙沼市に学ぶ

考え、インターネット上の寄付受付窓口サイト数を増やし、着実に成果を上げてきたことを示しました。

このほか、寄付金は経常経費にせず、「未来への投資」として今後10年間にわたり人口減少対策や教育、産業の3つをパッケージ化した事業展開について説明。それぞれの使途を明確化することで、寄付者と市民の双方に透明性のある取り組みとしている状況が話されました。

ふるさと納税寄付制度について、示唆に富む内容に感心させられた研修となりました。



気仙沼市からふるさと納税の取り組みを聞く

産業まつりの来場者に聞きました

市民の声

あなたは
どう思う? 『シール投票』



ふるさと納税の使い
みちを問うシール投票



選挙看板風の
顔出しパネル

気軽な意見交換の
場となった議会と
お茶っこコーナー



「う〜ん選ぶって
難しい」結構悩
んだシール投票



市議会では、本市産業まつりに出展しました。

産業まつりは、10月25、26日の2日間にわたり開催され、2日目はあいにく小雨となりましたが、多くの方が市議会のブースに来訪されました。

ブースには、選挙啓発のための写真撮影コーナーに加え、気になる話題について市民の声を届けてもらうシール投票や気軽に意見交換できるように議会とお茶っこコーナーを設けました。

ふるさと納税の活用方法を問うシール投票では、子ども支援、産業振興や雇用への要望が多く出されました。

また、高校再編をたずねる投票では高田高校の海洋コースを残してほしい40人、残さなくともよい1人という結果になりました。

皆様からのご意見は、今後それぞれの議員活動にかかしていきます。

ご協力ありがとうございました。

議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第134号のクイズの答えとともに寄せられたご意見の一部を紹介します。

こども条例いいと思います。でも子どもの数がどんどん少なくなって、将来の陸前高田市はどうなるのかと不安です。若い人が定着して、働けて安心して子育てできる市にして下さい。
(高田町女性 60代)

以前クイズのハガキに鳴石団地の階段の件を書きました。だいぶたって、そこを視察したと議会だよりに掲載したので、一人の意見もちゃんと届いていると実感しました。
(高田町女性 80代)

“国際化”はさけられない。出来る事は、英語をより積極的に活用、学習することかも知れない。
(高田町男性 50代)

議員さんの通信簿や活動報告会をお願いします。
(広田町女性 40代)

滑止用砂袋を道路の脇々の方にも置いて頂ければ助かります。
(広田町女性 70代)

企業のリクルートページによくある「先輩社員の日」の陸前高田市議会議員バージョンが見てみたいです。
(高田町男性 30代)

◎議会だよりクイズ ○の中にはどんな漢字が入るでしょうか？

りくぜんたかた市議会だより第135号の表紙は
〇〇町の黄金山水天宮虎舞会です。

応募方法 クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) ※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL こちらのメール送信フォームをご利用ください。

しめきり 令和8年2月13日(当日消印有効)



議会だより第134号クイズの答え

○の中にはどんなひらがなが入るでしょうか？

answer

答え こども

表紙の写真

市内各地で行われた悪魔祓い行事。議会だより編集小委員会では米崎町脇の沢地区と横田町第4区取材してきました。

1月2日
米崎町脇の沢獅子舞組



在京陸前高田人会

ふるさとへの声

関東周辺の本市出身者らで組織する在京陸前高田人会の第37回ふるさとのつどいは11月23日、東京都上野の東大紅で行われました。ステージではお楽しみ抽選会や歌謡ショーが賑やかに繰り広げられ、参加者同士が和やかに親睦を深めました。

会場には、約150人の出身者らが駆けつけ、本市からは石渡史浩副市長をはじめ、市議会の及川修一議長ほか議員4人、伊東孝商工会長らが出席しました。

開会式で、在京人会の新しい会長に就任した及川志郎さん(広田町出身)は「この会は、昭和61年に創立し、来年で40年を迎えます。今日まで続けてこれたのは諸先輩方の尽力と会員相互の協力の賜物。本日はスクリンに映し出される故郷の懐かしい映像を眺めながら楽しいひと時を」とあいさつ。



ふるさとの話題で盛り上がった在京陸前高田人会

ジングトリップ・ビューローの村上清代表の音頭で乾杯。懇親の部ではマスコットキャラクター・たかたのゆめちゃんが登場し、本市の特産品が当たるお楽しみ抽選会に歓声が上がりました。

会場入り口では、本市の海産物を原料にした数々の加工品をはじめ、がんづきやゆべしといった菓子類などが販売され、故郷から持ち込まれた特産品が完売する人気を集めていました。

全員協議会

令和7年10月以降に市当局から提出された案件をお知らせします。

10月20日

◎陸前高田市過疎地域持続的発展計画(素案)に係るパブリックコメント実施について
◎水道事業経営戦略の改定について

◎令和7年度陸前高田市津波避難等訓練の実施について

12月12日

◎青森県東方沖地震による津波警報及び北海道・三陸沖後発地震注意情報への対応状況について

You Tube

配信のお知らせ

議会だよりとともに、YouTubeをご覧になりませんか。一般質問など見比べも含め、皆さまのご意見をお待ちしております。
※市ホームページ→市議会→音声継ぎ(YouTube 陸前高田市議会)をクリックすると陸前高田市議会のチャンネルに移動し視聴したい会議を選んでご覧いただけます。

議会からも 熱いエールを送る

10月20日の全員協議会では、ワールドシリーズへ臨む本市出身のメジャーリーガー佐々木朗希選手を応援しようと、ロサンゼルス・ドジャースのチームカラーで作った応援ポロシャツを着て会議に臨みました。

市役所庁舎にも応援横断幕が掲げられていますが、この日は議会からも熱いエールを送りました。



応援ポロシャツで会議に臨む

10月 October

- 2日 行政視察（宮崎県門川町議会）／行政視察（千葉県香取市議会、神崎町議会）
- 4日 赤い羽根共同募金活動
- 7日 行政視察（宮崎県串間市議会）
- 8日 議会だより編集小委員会
- 9日 市民と語る小委員会／行政視察（茨城県ひたちなか市議会）／行政視察（神奈川県大井町議会）
- 13日 市スポーツ協会設立70周年記念式典式典（議長）
- 14日 議会運営委員会／議会だより編集小委員会
- 15日 行政視察（鹿児島県市議会議長会）
- 17日 行政視察（新潟県十日町市議会）
- 20日 全員協議会／広聴広報特別委員会／各常任委員会／議会だより編集小委員会
- 21日 戦没者追悼式
- 23日 行政視察（高知県室戸市議会）
- 25日～26日 市産業まつり（議会ブース出展）
- 26日 第19回横田あゆの里まつり（議長）
- 28日 議会だより編集小委員会
- 29日 いわたの地域づくり道づくりを考える大会（議長）／行政視察（東京都大田区議会）
- 30日 行政視察（千葉県袖ヶ浦市議会）
- 31日 市民と語る小委員会／沿岸広域振興局大船渡各センター所長等との情報交換会

11月 November

- 6日 市勢功労者表彰式／議会だより編集小委員会／行政視察（石川県金沢市議会）
- 7日 行政視察（長野県伊那市議会）
- 9日 災害初期対応訓練／秋季消防演習
- 12日 市老人クラブ連合会芸能発表会（議長）
- 15日 気仙芸術祭第38回美術展開会式（議長）
- 17日 岩手・宮城県際市町議会議長会 要望活動（議長）
- 18日 気仙地区議会議員協議会対県要望（正副議長）
- 19日 岩手県市議会議長会議員研修会
- 20日 全員協議会／市民と語る小委員会／産業建設常任委員会
- 21日 陸前高田市議会・一関市議会・気仙沼市議会議員交流会
- 22日 陸前高田市福祉大会（議長）／陸前高田商工会優良従業員表彰式（副議長）
- 23日 在京陸前高田人会
- 25日 議会運営委員会／会派代表者会／総務常任委員会
- 28日 本会議／全員協議会／広聴広報特別委員会／各常任委員会／議会だより編集小委員会
- 29日 奥州市市制施行20周年記念式典（議長）

12月 December

- 1日 民生委員児童委員協議会臨時総会（副議長）
- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問）
- 4日 本会議（一般質問）／予算等特別委員会
- 5日 予算等特別委員会
- 8日 総務・教育民生・産業建設常任委員会連合審査会／議会だより編集小委員会
- 9日 各常任委員会
- 10日 各小委員会
- 12日 本会議／全員協議会
- 15日 議会だより編集小委員会
- 19日 議会だより編集小委員会
- 22日 総務常任委員会
- 23日 市民と語る小委員会
- 25日 議会だより編集小委員会
- 26日 沿岸都市議会連絡会議対県要望（議長）

議会だより編集小委員会

委員長	福田利喜
副委員長	大和田加代子
委員	佐々木良一
委員	菅野秀一
委員	伊勢純
委員	同 佐々木一義

印刷／(有)第一印刷

第23回

★市内の団体や個人を紹介します。

がんばってます!!

◆菊池畳店

3.5代目 菊池沙也加さん

菊池沙也加さん（37）は、高田町で3代続く製畳業を営む家に生まれた生粋の高田っ子。約10年前に家業を継ぐことを決心し、現在は竹駒町上壺にある仮設だった店舗でそのまま営業を続けています。仕事と子育てを両立している3女1男のお母さんにスポットを当てました。



家業を継ごうと思ったのは、当時、アルバイト先の店主に相談をし、勧められたというのもありましたが、本来継ぐはずだった兄（勇輝さん）を震災で亡くし、自分と家業の将来を考えて決断しました。そんな経緯も

あり兄が「3代目」で、自分は「3.5代目」と思っています。

父（純一さん）のもと、仕事を覚え、日々製畳業に勤しんでいます。主に個人の畳の入れ替えが多いのですが、総じて畳の需要自体が減り、市内の同業者も減る一方なので、不安もあります。しかし、自分なりにイ草を使った小物雑貨を作ってイベント等への出店、販売をすることや、他業種とつながりを持つことで、畳の良さを広げたいと思っています。

子育てについては、父母の力も借りながらですが、育児を始めた7年前より保育環境がだいぶ良くなっていると思います。送り迎えは相変わらずたいへんですけど…。



★畳縁製ブックカバー

議会へひとこと

もっと市内のこども（人口）を増やす手立てをしっかりと考えて欲しい。一番下の子の同級生が市内で49人しかいません。自分のこどもだった頃と比べると、ちょっと寂しい。知恵やアイデアを出し合い、陸前高田の将来に向けた考えをつくっていてもらえることを願っています。

寒中お見舞い申し上げます
早いもので、新しい年も半月程が過ぎました。すでに正月気分も抜け、日常に戻ったころでしょうか。
寒が明け、虫たちが動き出すと東日本大震災から15年を迎えます。誰にも平等に与えられたこの間の「時」ですが、その中身は千差万別。一つとして同じものはありませんし、一人ひとりの行動の結果として今のまちがあるのだと思います。

今日という日は
二度と来ない
二度と来ない
来ない日が
毎日来る
星野富弘

「今日という日」より

15年後の被災地に住むものとして、これからのまちについて語り合いませんか。二度と来ない今日という日の想いを明日のまちづくりにいかしていきましよう。
(大和田加代子)

あとがき